

第5回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会での主な意見

総合戦略の全般

- 企業、学校、学生の目を街に向ける必要がある。行政だけの努力ではなく推進協議会としても汗をかくべき。
- 推進協議会は批評するのではなく自ら行動することが必要。
- 総合戦略の進捗は概ね順調だと思う。スピード感をもってとのご指摘があり肝に銘じておきたい。
- あらゆる課題に対応する計画となっているのでバランスは難しいが、計画の進捗に応じたテーマの入れ替えが大切。

国家戦略特区

- 特区の取組を大臣のみならず、市民にも見せるべきだ。特区の取組に関する評価が甘い。

進捗管理

- 事業のできている部分とそうでない部分を厳しい目でチェックしてもらいたい。
- 進捗管理について、KPIの未達のをどう対処するかが大切。もう少し分かりやすくしてもらいたい。戦略には軽重があると思うので、全体的に成果が出ているのはわかるがもっと特色のわかるようにしてもらいたい。

若者地元就職、しごと全般

- 企業誘致などを積極的に行うことで少しでも北九州市内での雇用の場を確保していただきたい。

- ・ シニアハローワーク戸畑が開所し 400 名利用していることであるが、利用者が満足していただけるようにすべき。
- ・ 協働強化にインターンシップの受入など地元就職促進が記載されているが、インターンシップの内容を充実させることが重要であり首都圏から北九州市に対するアプローチを考えるにはいい時期だ。
- ・ 奨学金制度について、首都圏大学の学生もターゲットにした方がよい。

定住・移住、情報発信

- ・ 市外から住んできた人の声を聞いて、北九州の良さを若者たちにも知らせていくべき。
- ・ 情報発信を多分野でやっており、大黒柱となるものがないので、北九州市といえばこれという核が必要だ。首都圏を意識した時に、首都圏と地元では考え方が違うので、いかに首都圏の人の目に止まるかを考えることが大切。
- ・ 行政がイニシアティブをとって、テレビ・マスコミを積極的に活用し目玉になるものを市以外への広報を行うべき。
- ・ 情報発信に関して、北九州市の飲食店が海外で取り組んでいる事例がテレビで放送されており、こうしたよいものをもっと市民にも発信したらよい。
- ・ 定住移住においても、北九州市が東京交通会館 6 階に東京事務所を移転したが、福岡県も同館 8 階に『ふくおかよかこ移住相談センター』を開設したので、首都圏からの U I J ターンも協働で進めていきたい。

観光振興

- ・ インバウンドについて、ニーズなどをしっかりと把握してから PR をしていくべき。
- ・ 魚町商店街を活性化させる必要があるが、商店街の人達は街を愛する思いがまだまだ足りないと思う。
- ・ 今年は戸畑祇園大山笠が世界遺産に登録されたので、わっしょい百万夏祭りで大々的に扱ってもらい、周辺からも人が来てもらえるようにしてもらいたい。

- ・ 小倉城は桜がきれいで見たいと思うが、そうした時に女性がおみやげを買いたいと思っても買えないのでこうしたものを整備してもらいたい。

シビックプライド、子育て、教育

- ・ 6割が地元就職（北九州市：35%、周辺25%）であるが、もっと高めるには学生のシビックプライドの醸成が大切。
- ・ 子育てしやすい環境としごとはリンクしており、住宅や保育所、高齢者デイサービスなど一体的な施設があれば、親も安心して働き、働きに出ない人も施設で介護の仕事をするができると思う。
- ・ 市民に都市の核となる地域、商業の中心がどこかという認識がない。シビックプライドについても、旧5市を前提としたものになっている感じがするので、市としての気持ちの醸成づくりが大切。
- ・ 北九州市での暮らしのロールモデルを示すことができれば北九州市の魅力がわかりやすくなる。

広域連携

- ・ 関門連携の取組は重要だと考え、下関市の青年会議所と連携し、青年会議所版総合戦略を策定したい。

その他

- ・ 地域住民が地域の魅力を考え直す必要がある。
- ・ インフラ投資について、リノベーションのような空間資源の活用が大切。北九州市は北九州家守舎といった積極的に頑張っている企業もあるので追い風になる。
- ・ スタジアムの開設の話が行政が様々な局面でしているが身近な人には知らない人もまだあり、PR戦略も一般市民を巻き込んだものにしないといけない。

- 今年5月のウーマンワークカフェ北九州の開設、G7 エネルギー大臣会合、北九州空港の利用促進など福岡県と北九州市が協働することが重要だ。
- 北九州市は暴力団もなくなり住みやすくなった印象があるが、一層安全・安心の取組を進めていく必要がある。
- 日明工場の建て替えをすることにしているが、IoT、AIなどを含めた最新の技術を結集して進めてもらいたい。
- カジノ誘致の話が出ているが、北九州市は競輪、競艇、競馬などの公営ギャンブルが充実しているので、こうしたものを活用してもらいたい。
- 折尾や学研で軌道系（LRT）のインフラを整備してはどうか。
- 小倉ホテルの跡地利用をしっかりと考えるべきだ。